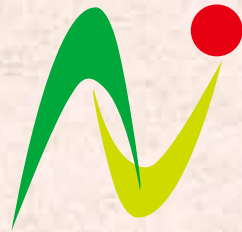


なかがわ

広報

2012. 10



No.85

- 平成23年度決算報告 2
- 県知事選挙 6
- 町政（まちづくり）懇談会 7
- 姉妹都市中学生交流事業 8
- スポーツの秋！小・中学校運動会 12
- 農産物安全・安心キャンペーン 15
- 平成25年度幼稚園・保育園の入園受付について 16



秋季特別展

広重と東海道展 —保永堂版東海道・豎絵東海道を中心に—



歌川広重は生涯に20種類以上の東海道シリーズを描いています。作品の種類は宿場や街道の名所を描いた作品もあれば、大判一枚を上下二段に分け上部に街道の風景と下部に美人を描いた

シリーズ、一枚の中に何種類かの風景を入れた張交絵や双六など多種多様です。広重がはじめて東海道シリーズを描いたのは天保4年頃に出版した「保永堂版東海道」です。この作品についてはいままで様々な評価がされてきましたが、それらをまとめてみると、東海道は江戸から京まで約500kmで、この距離を二週間かけて歩く旅ですが、広重は春夏秋冬の季節や天候（雪、雨、霧、晴天、曇り等）や日時（朝、昼、晩）などを作品中に加え、単純な宿場の景観図をひとつひとつ魅力のある風景画として描きました。55枚の全ての作品を見てみると初めの日本橋は穏やかな旅立ちですが、途中風雨などに遭い旅の厳しさを味わいながら最後の京の三条大橋では再び穏やかな晴天になります。広重は55枚をひとつの物語のように演出し旅の厳しさや楽しさを描きました。

今回紹介する作品は「東海道五十三次細見図会」（大判 村鉄版）です。このシリーズは現在「日本橋」から「箱根」までの11枚が確認されています。展覧会ではこの内「小田原」までの10枚を展示しています。

図の「日本橋 品川へ二里」は大判を縦にした構図で上部に日本橋から品川までの俯瞰図、下部に5人の「道中風俗」が描かれています。「田舎道者 江戸見物」と書かれ、男性は3人、女性は2人の旅姿です。

伊勢参りの帰りに大都会の江戸を見物している最中ようです。手前の女性は笠に「大鳥村」、最後尾の男性笠には「大吉村」の文字が見え両掛けした荷物は4人分の旅道具が入っているのでしょう。全員金剛杖を持ち、草履、パッチまたは脚絆、ゴザ、笠などの旅姿です。上部は手前に「日本橋」から「札の辻」、に行き「増上寺」、「あたご」「三田はちまん」に寄り「田町」、「大木戸」では泉岳寺、「高輪」では「大仏」を見物し「八ツ山」（品川宿）までのルートが記されています。

馬頭広重美術館 館長 市川信也



「東海道五十三次細見図会 日本橋」
（川崎・砂子の里資料館蔵）

- 【会 期】 後期10月19日(金)
～11月18日(日)
- 【休 館 日】 毎週月曜日(祝日除く)、
祝日の翌日
- 【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は4時30分まで)
- 【入 館 料】 大 人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)
※()は20名以上の団体料金。

美術館無料開放日 10月19日(金)
ミュージアムトーク 10月20日(土)
午後1時30分～

ミニギャラリー 平成23年度 那珂川町観光写真コンテスト 受賞作品

ミニギャラリー 作品募集!

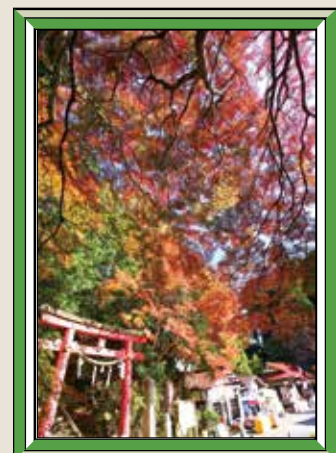
あなたの作品をここに展出してみませんか?

絵画、写真、絵手紙、手芸などの作品をお待ちしております。

申込み・問合せ…企画財政課
☎0287-92-1114



入選「紅に染まる」
林佐智子さん(那須塩原市)



入選「照紅葉」
山岸修一さん(宇都宮市)